

# 栃木県医師会学校保健部会活動報告

学校保健部会副部会長 浅井秀実

# 学校保健部会役員 (令和6年6月15日～)

部会長 小沼 一郎 (栃木県医師会 会長)

副部会長 浅井 秀実 ( 同 副会長・学校保健担当)

片山 辰郎 ( 同 副会長・学校保健担当)

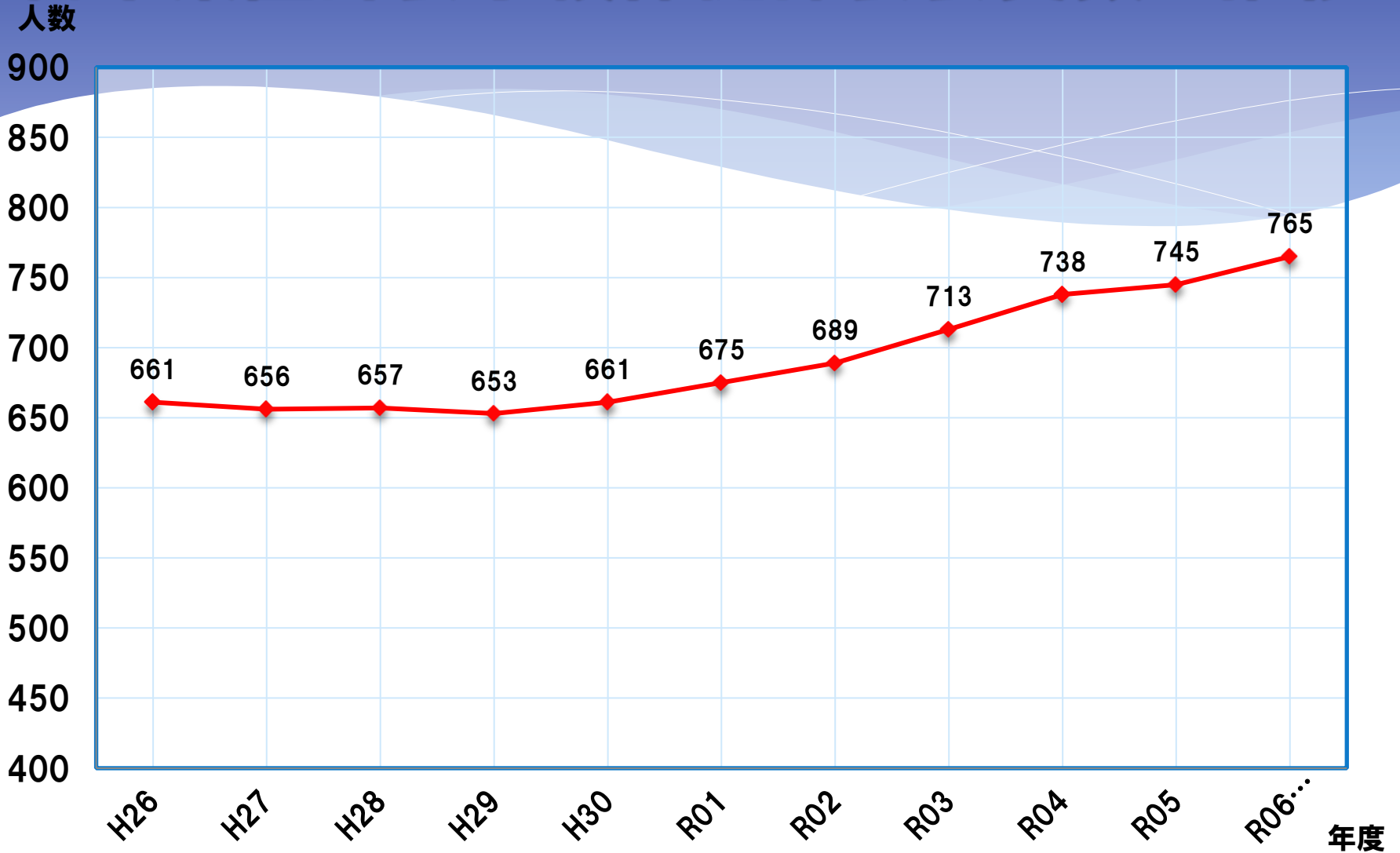
理事 遠藤 秀樹 (宇都宮市)  
木村 安志 (上都賀郡市)  
櫻井 賢司 (下都賀郡市)  
小黑 範子 (小山地区)  
北川 英子 (佐野市)  
中村 暢男 (足利市)  
阿久津博美 (塩谷郡市)  
齋藤 仁 (那須郡市)  
上野 顕 (南那須)  
鈴木 幸代 (芳賀郡市)

参与 堀 秀行 (眼科)  
金子 達 (耳鼻咽喉科)  
小野 誠 (整形外科)  
木内 敦夫 (産婦人科)  
上村 修一 (精神・神経科)  
神永 朋子 (皮膚科)

# 会員数 765 名（令和7年1月末現在）

郡市	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06 (R7年1月末 現在)
宇都宮市	174	171	173	173	176	179	179	184	189	189	191
上都賀郡市	56	55	55	54	53	54	58	61	62	61	61
下都賀郡市	74	74	74	75	75	72	73	75	75	75	77
小山地区	70	71	71	68	71	74	74	77	79	81	82
佐野市	41	41	40	39	37	34	35	36	36	35	36
足利市	73	72	73	71	72	73	74	77	79	81	82
塩谷郡市	41	41	41	41	41	41	41	40	40	40	39
那須郡市	57	55	53	53	55	57	56	57	59	60	62
南那須	18	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18
芳賀郡市	37	36	36	35	35	35	36	35	35	35	35
自治医大	5	6	7	11	14	26	33	40	52	56	68
獨協医大	15	15	15	14	13	12	12	13	13	14	14
合計	661	656	657	653	661	675	689	713	738	745	765

# 栃木県医師会学校保健部会会員数の推移



# 令和5年度決算(概要)

➤ 収	入		
	委託金	200,838円	(学校医研修会事業)
	その他	172,264円	
	合計	373,102円	
➤ 支	出		
	会議費	146,344円	
	研修会費等	226,758円	
	合計	373,102円	

# 各種大会等の参加

## 【令和5年度】

### ① 関東甲信越静学校保健大会

令和6年8月1日（木） 於 東京

### ② 関東甲信越静学校医協議会

令和6年8月1日（木） 於 東京

### ③ 全国学校保健・学校医大会

令和6年11月7日（木）・8日（金） 於 宮崎県

# 学校医研修会(WEB)

【令和6年度】

令和7年2月12日(水) 16時～17時

「学校・幼稚園・保育園現場における  
神経疾患に対する対応」

講師：獨協医科大学 医学部 小児科学  
主任教授 白石 秀明 先生

# 令和6年度 県公立学校における校医報酬

【上段:令和5年度 下段:令和6年度】 ※( )内は内科校医以外

全 日 制	基本年額	145,800 (130,800)	
		145,800 (130,800)	
	生徒数割	×210	
		×210	
定 時 制 通 信	基本年額	独立校・大規模併設校	その他の併設校
		145,800 (130,800)	109,800 (98,900)
	生徒数割	145,800 (130,800)	109,800 (98,900)
		×210	×210
	生徒数割	×210	×210
		×210	×210
特 別 支 援 学 校	基本年額	157,200 (141,400)	
		157,200 (141,400)	
	生徒数割	×210	
		×210	



# 令和7年度 学校保健部会活動目標

スローガン

「学校保健教育により積極的に取り組もう」

活動目標

## (1) 学校医研修会の充実

- ・ 県医師会：年2回開催
- ・ 郡市・地区医師会：学校医委員会主催あるいは生涯教育委員会主催で年1～2回開催

## (2) 学校保健委員会への積極的参加

- ・ 子どもたち・養護教諭・PTA等と現場に出向いた顔の見える対話
- ・ 健康教育の取り組み

## (3) 養護教諭との連携強化

- ・ 地区医師会と地区養護部会支部との連携（個々以外に組織対組織の意見・情報交換）

## (4) 乳幼児保健との連携強化

- ・ 乳幼児保健委員会との連携
- ・ 「子ども支援日本医師会宣言（2006年5月16日）」への取り組み

## (5) アフターコロナ+ウィズコロナの学校保健への取り組み